



西園寺みきこ 検索

●発行責任者：西園寺みきこ ●連絡先 武蔵野市中町3-11-13-102
●TEL/FAX：0422-36-3767 http://saionji.seikatsusha.net/

Oct. 21, 2014

生ごみの資源化と花いっぱいを 障がい者の就労とつなげる

土に返せば、生ごみは宝。微生物の働きを助け、栄養豊かな野菜づくりにつながります。ごみ減量の地域活動が活発な武蔵野市では、生ごみを土に返すコンポスター・段ボール法「活かす君」などの普及が進み、元気野菜づくりへの関心が高まっています。

農地が少ないベッドタウン埼玉県戸田市では、市民がフラワーセンターに生ごみを持ち込み、障がい者が育てた花苗と交換する事業が6年目です。市場原理ではマイナスの価値しかない生ごみを、障がい者就労(最低賃金を払う先駆的な事業)と結びつける「発想の転換」に注目！です。20数年で人口倍増した活気あふれる

る戸田市において、新旧住民を同時に満足させ、新住民を定着に導く総合的シンボリック事業なのです。武蔵野市なら、何を特典にすればよいでしょう？市内産の新鮮野菜？障がい者の方が作った国産小麦粉のパンやお菓子？戸田市の積極的な施策に学び、武蔵野市をもっと元気なまちにしていきたいと思います！



▲生活者ネット議員など17名で戸田市リサイクルフラワーセンターを視察

あらゆる立場の人の権利と 尊厳を守るために

武蔵野市では「男女共同参画条例」の制定が課題です。6月の講演会「多様な性を理解する」(男女共同参画フォーラムの一つ)で、性的マイノリティ当事者5人が、性的指向・性自認の多様性を語り、「私たちが生まれつき持っているセクシュアリティは、バラエティに富んだ豊かなものなんだ」と目を見開かされました。あらゆる立場にある市民が社会の対等な構成員として互いの人権と能力を尊重し合い、自分らしい生き方ができる。そんなまちをつくっていきましょう。

*一般質問で、性的マイノリティ施策を取り上げました。

○性的マイノリティに関する正しい知識を学校現場で共有し、丁寧な対応を・・・今年6月文科省は、性同一性障がいと判明した児童生徒が全国に606人いる一方、学校側が配慮しているのは6割にとどまる、と公表しました。「ヒゲが生えてきたのが嫌で嫌で」「スカートをはいている自分に違和感」など性自認に関する悩みに気づくのは平均13歳。性的マイノリティ男性の6割がいじめを経験し、半数が自殺を考えたことがある、とされます。人口の3~7%いるとされる性的マイノリティは決して少数派ではありません。いじめ・孤立・引きこもりの隠れた原因になっていないか、市と教育委員会に丁寧な対応を求めました。

○性別欄は性的マイノリティの方にとってイヤなもの。不要なものはやめるべき・・・特に必要がないのに性別欄が残っている行政書式(左の例)。市長から「やめる方向で検討する。他の行政書式についても洗い出し作業に着手した」と答弁がありました。



▲特に必要がない行政書式「性別欄」は、性的マイノリティの方々の違和感のもと

9条・解釈改憲にどう対峙するのか 8.16 公開討論会

8月16日東京・生活者ネットワーク主催公開討論会に出席しました。今井一さん(ジャーナリスト/『国民投票/住民投票』情報室事務局長)・想田和弘さん(映画作家/『日本人は民主主義を捨てたがっているのか?』著者)・宮台真司さん(社会学者/首都大学東京教授)3氏は、2012年30万人超の法定署名を集めた『『原発』都民投票』直接請求運動の呼びかけ人・賛同人であり、「大事なことは市民が決める」の理念を共有する方々。▲地域から民主主義の土台を底上げしていこう！した。印象に残ったのは想田さん「こういう時代には『特効薬』を求める心理が働く。そういう時に偽ウルトラマ



ンが登場する。特効薬を求めず、『民主主義というまち』に落ちているごみをひとつずつ拾っていく』の発言。憲法12条には、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。」とあります。民主主義とは、崩れないように壊れないように私たち自身が汗をかいて築き続けなければならない。そのことをあらためて考えさせられま

http://iwj.co.jp/wj/open/archives/162254 で動画が視聴できます。

エネルギーを 市民自らの手で！

NPO むさしの市民エネルギー設立記念フォーラムが8月2日武蔵野公会堂で開催され、八王子・小平・小金井・三鷹・練馬で市民発電を目指す方々とエール交換し、大いに励まされました。記念講演で飯田哲也さん(環境エネルギー政策研究所所長)は、「ぜひ中央線ご当地エネルギーを！」と提案。市民発電に対する理解を深めていただくとう「む〜ソーラーカフェ」も各所で開催中です。「ひと」「場所=屋根」「かね」3つとも募集中！会員が賛同人になってください！



▲AERA 9月15日号「志金で動く日本の市民発電」に掲載されました。

市民文化会館改修 計画の行方は？

築30年経過した市民文化会館の大規模改修計画が前進です。9月1日議会全員協議会で市執行部と意見交換がありました。5月に提起された「市民説明会を開催」「遮音に関してさらに検討を」等に対して市から説明があり、今後基本設計の発注に進みます。来年度に実施設計、28年度に休館して工事。29年度リニューアルオープンとなる見込みです。

今回の大規模改修はいわゆる「長寿命化」。躯体コンクリートの寿命60年を目いっぱい使いきる、財政負担・環境負荷の両面で大変良い方法です。一方、そもそも武蔵野市の市民文化施設とは何か？次世代が求める文化施設とはどんなものか？など議論すべき未解決の課題があることも明らかになりました。一流奏者の演奏を聴くだけでなく、踊りやパフォーマンスなど未来に向けたニーズをくみ取る努力が必要です。市民に対し情報を迅速に公開し、合意形成の手続きを堅実に進めることが重要です。

市役所8階市民食堂「さくらごはん」 キッズセットがスタート

4月にリニューアルオープンした市役所8階の市民食堂「さくらごはん」が盛況です。障がい者の方の就労の場となっているだけでなく、市内産野菜や友好都市の産物が、10数種類ある小鉢メニューとして活用されています。この夏休みは総合体育館やプール利用後の親子連れで満席でした。お得なプリペイドカードもあるんですよ。



西園寺みきこ プロフィール 1958年 福島市生まれ
2000年~ 武蔵野市境南町5丁目に転居 生ごみ減量の市民活動に参加
2006年 第四期長期計画調整計画市民会議委員
2011年 市議会議員初当選。現在総務委員 議会広報委員 都市計画審議会委員など

facebook Twitterでも発信しています。
twitter@saionjimikiko
https://www.facebook.com/mikiko.saionji